



ふたばランド

ふたばランド保育園

9月の園だより

H30. 9. 1

牛久市中央5-5-2 tel.029-873-5528 ip phone.050-3428-9254

猛暑・酷暑の夏でした。この異常な暑さは、果たして今年に限ったことなのでしょう？ それとも、この先も...？ いずれにしても、日が落ちる頃には、秋を知らせる虫の音が聞こえるようになってきました。次は、「実りの秋」を十分に楽しみたいものです。

さて、「先日」の「夏祭り」。子どもたちのために、企画・運営を快く引き受けてくださった夏祭りの実行委員の皆様、そして、準備・手伝い・片づけに携わってくださった保護者役員ならびにご父母の皆様、本当に有難うございました。お陰様で、今年も楽しいひとときを過ごすことが出来ました。みんながいるから出来ること、みんなでやるから楽しいことを、子どもたちもそれぞれに実感出来た暑い夏でした。

おべんとうデー 9/19 (水)

- 今月も、子どもたちのためにどうぞよろしくお願い致します！ 毎回、お弁当に大喜びの子どもたちです！！
- 熱いままフタをせず、中味をよく冷ましてからフタをしてください。
- お弁当箱の上に小さな保冷剤を載せるなど各ご家庭で、十分にご配慮くださいね。

誕生会 9/26 (水)

- さあ、今月は9月生まれのお友だちをみんなでお祝いします！ 友だちのことを自分のことのように一緒に喜んだり、悲しんだりできる気持ちを大切に育てたいものです。当日はお休みしませんように。

交通安全教室 9/27 (木)

- 今月は、「飛び出しをしない」といったテーマで子どもたちに問題提起をさせていただきます。子どもたちにとって、「止まること」は「動くこと」以上に難しいものです。普段の生活の中でも、気持ちのコントロールをつけながら落ち着いて行動出来るような習慣づけを意識したいですね。

★ 9月3日は、「防災の日(9/1)」にちなんで、給食のメニューは備蓄米とレトルトカレーです。園庭にてお湯を沸かし、ご飯とカレーを温めます。各ご家庭におかれましても、緊急時に対応できる備えを日頃より気に掛けておきましょうね。

今月の予定

- ### 保育参観&講演会 9/10 (月)
- この時期の保育参観、初めての試みです。「今の」、子どもたちの姿を、どうぞご覧下さい。そして、浅田精利理事長先生による講演会。ためになるお話が聞けると思います。

- ### 牛久市幼児教育指導員の先生方による「おはなし会」 9/10 (月) 14:00~
- 今回も、4、5歳児を対象に、幼児教育指導員の宮本 弘先生と栗山明彦先生が、紙芝居と絵本の読み聞かせに来園して下さいます。それぞれにお話の世界にしっかりと入りながら、聴き入っています。この時期、とても大切な経験です。

カレーライスの日 9/12 (水)

- 今月から、ぞうグループの子どもたちが手分けをして、全園児分の野菜(ニンジン、玉ねぎ、ジャガイモ)、肉、カレールーを買い出しに行きます。お金のやり取りも自分たちでおこないます。責任感や有能感がより高まることを期待しています。
- ※ そらぐみ、たいようぐみのお友だちは、今回もエプロンと三角巾を忘れずに！ 自分自身の手で用意ができますように。

お知らせ・お願い

★ 今後の予定より...

☆ おじいちゃん・おばあちゃんに手紙を出しますよ。

- 「敬老の日」に向けて、おじいちゃん、おばあちゃんへ手紙を出したいと思っています。詳しいことにつきましては、後日お知らせを配布させていただきますので、何卒ご協力くださいね。

☆ わくわくフェスティバル(運動会) 10/6 (土) 8:50~12:00(予定) 牛久運動公園メインアリーナにて

- みなさんで、心をはずませて、つながって、楽しいひとときになりますように！ 今年度は、アリーナ使用の日程調整により、例年よりかなり早めの開催となりました点、何卒ご了承ください。

☆ 5歳児 筑波山登山 10/10 (水)

- ※ 雨天の場合は、11/2 (木) となります。
- つつじヶ丘から自分の足で女体山の山頂を目指します！ 下りはケーブルカーにて筑波山神社へ。年長児ならではの行事です。

★ 緊急の連絡先やメールアドレス等が変更となった場合は、お手数でも必ず保育園まで連絡をお願いします。

いざというときの連絡に備えて、何卒ご協力ください。

★ 「お迎えカード」の携帯を、引き続きよろしくお願い致します！

お互いの安心・確認のために、お互いが気をつけましょう！！ 慣れてくると、どうしてもルーズになりがちです。意識の継続を、よろしくお願い致します！

★ 持ち物や衣服の名前が消えたり、薄くなっているはないか、その都度ご確認くださいね。

集団生活の中では、同じものや似たものが沢山あります。自分自身で人のものと自分のものの区別がつけられるように、そして、しっかり自己管理することができるように後押ししてあげることも大切な大人の役目です。

時として、「縁」の不思議さについて考えさせられたりすることもあります。本当に、縁あってお預かりした子どもたちの成長・発達をしっかりと後押しするために、「保育の質」を少しでも向上させていきたいものだと思っております。

ただ、この願いは、私だけのものでは、到底何ともなりません。子どもたちのために、一緒に思いを共有して下さる保護者の皆さんやスタッフの存在なしには、絶対になし得ないことです。そういった点においては、縁あって出会った保護者の皆さんやスタッフの面々に恵まれている有り難さに大いに感謝です。

ところで、「保育」という営みが、どこにいても、どの園でも一律に同じかと言えど、決してそうではないはず。たとえ「子どもたちの幸せのために」といった最終目的は同じであったとしても、

も、子どもたちへのアプローチの仕方や活動の選定、展開方法等、保育感や保育内容は施設によって実に様々なのです。

では、私たちが大切にしたい保育の視点をいくつか挙げてみると、『大人の都合や願いはかりを優先するのではなく、子どもたちの思いも大切にしながら、子どもたちの意欲、主体性、達成感、自己肯定感、等を育むことができるような関わりへの意識を...』『日常の何気ないことの積み重ねを大切にしながら、乳幼児期にふさわしい感動を伴う経験の積み重ねを...』『人と人との間での「学び」真似び」を大切に、大人も含めた互いの「育ち合い」と「育て合い」を...』と、なるでしょうか。

人格形成の基礎となる乳幼児期の育ちは、とても大切です。本園の保育が、子どもたちにとって少しでもいい刺激となるように、今後、「質」に対する意識を、皆さんも我々と一緒に是非持ち続けたいだけだと思います。